

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 5月えんだより

5月聖句：「これは、主がなさったことで、わたしたちの目には不思議に見える。」

<マルコによる福音書 12章 11節>

園庭では、こいのぼりが春の風を受け、気持ちよさそうにゆったりと泳いでいます。新年度が始まり、子どもたちの生活や活動の世界も、日ごとに少しずつ広がってきました。一方で、まだ緊張や戸惑いを感じる時期でもあります。子どもたち一人ひとりが自分のペースで視野を広げ、興味をもって過ごしていくその歩みを、保護者の皆さまとともに大切に見守ってあげたいと願っています。

5月の聖句には「不思議に見える」という言葉があります。新しい保育園での生活は、子どもたちにとって、毎日がまさに不思議の連続かもしれません。園庭では、お兄さん・お姉さんと一緒にダンゴムシ探しが始まり、興味津々の様子が見られます。少し離れたところから眺めてみたり、指先でそっと触れてみたり、くると丸くなる姿に目を丸くしたり——その一つひとつが、子どもたちの心に新鮮な驚きとして映っていることでしょう。

「不思議だな」と感じる気持ちや感性は、子ども自身の内側から広がっていく大切な芽です。すべてを大人が示すのではなく、子どもが「不思議」と感じたその瞬間に寄り添い、共に味わうことを大切にしていきたいと考えています。私たち大人もまた、不思議だと感じる心を忘れずにいたいですね。

さて、YMCA 保育園の門を入ってすぐ右手に、3月末、新たに石碑が設置されました。すでにご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、機会がありましたらぜひ足を止めてご覧ください。

この石碑は、小豆島にある「神戸YMCA 余島野外活動センター」に長く設置されていたものを移設したものです。1950年、地域の方々のご支援とご協力のもと、小豆島土庄町にある周囲約2.2kmの無人島「余島」をお借りし、YMCAの野外教育の歩みが始まりました。戦後の荒廃した社会の中、「キャンプ」「野外活動」を通して民主主義教育を体験し、学ぶ場として、子どもや若者の育成が続けられてきました。それから75年の歳月が流れました。

余島には、多くのキャンパーとリーダーが集い、出会い、共に育ち合う歩みがありました。特にリーダーの存在は大きく、自らの時間を他者の為にと一人ひとりに寄り添い、キャンパーの成長とともに自身も成長するという貴重な体験を重ねてきました。そして今もなお、社会のさまざまな場面で活躍されています。「明日の指導者は今日創られる」という思いは、75年にわたって余島で大切に受け継がれてきましたが、残念ながら余島は2026年3月31日をもって閉場となりました。

石碑には『人と出あい 神と交わり 愛の火の もえるところ』

という言葉が刻まれています。余島では、「キャンプ」や「野外活動」を通して、YMCAの願いである「イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方」に学びつつ、一人ひとりのいのち、とりわけ子どもと若者がひかり輝く社会の実現を目指してきました。

時代とともに手段や形は変化していきますが、その根底にある思いは変わることなく、YMCAの各活動へと受け継がれています。保育園においても同じです。目には見えなくとも、人と出会う喜びを知り、神さまとつながり、その人と人との間に「愛の火」が灯されていく——その歩みの先を見たとき、「明日の指導者は今日創られる」という思いの継承でもあり、これからも大切な私たちの指針です。

5月8日、神戸YMCAは創立140周年を迎えます。新緑が美しいこの季節、石碑に刻まれた言葉に思いを新たにしながら、これからも子ども一人ひとりを中心に据えた歩みを、保護者の皆さまとともに重ねていきたいと思えます。

年主題：「しゅイエスとともに」

年主題聖句：「主があなたと共におられる。」 (ルカによる福音書 1章 28節)

5月	乳児 (0,1,2歳児)	幼児 (3,4,5歳児)
月主題	だいじょうぶ	かんじて/なんでだろう どうしてだろう
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の祈りや賛美にふれる ・安心できる大人のそばで、十分にありのままを受けとめられながら過ごす ・身近な草や花を見たり、触れたりして過ごす ・祈りや賛美歌をきいて、心地よく感じる ・環境に慣れ、安心して好きな遊びを見つける ・自分の思いを受けとめてもらって、思いを表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の祈りや聖書の話を通じて、神さまがいつもともにいてくださるを感じる ・好きな遊びを繰り返したり、友だちや保育者のやっていることに興味をもち心や身体を動かす ・絵本やわらべ歌、ダンスなどを通して、保育者や友だちとともに楽しい経験を重ねる ・生活の中で、神さまの創造された世界の恵みと数々の不思議にであう ・好奇心や探求心を働かせ、友だちや保育者とともに興味のある遊びを楽しむ ・身近な草花や虫、木々、風などに触れ、身の回りにある様々なもののいのちを感じる
讃美歌	ことりたちは	はなもとりも めがさめて幼児讃美歌 11